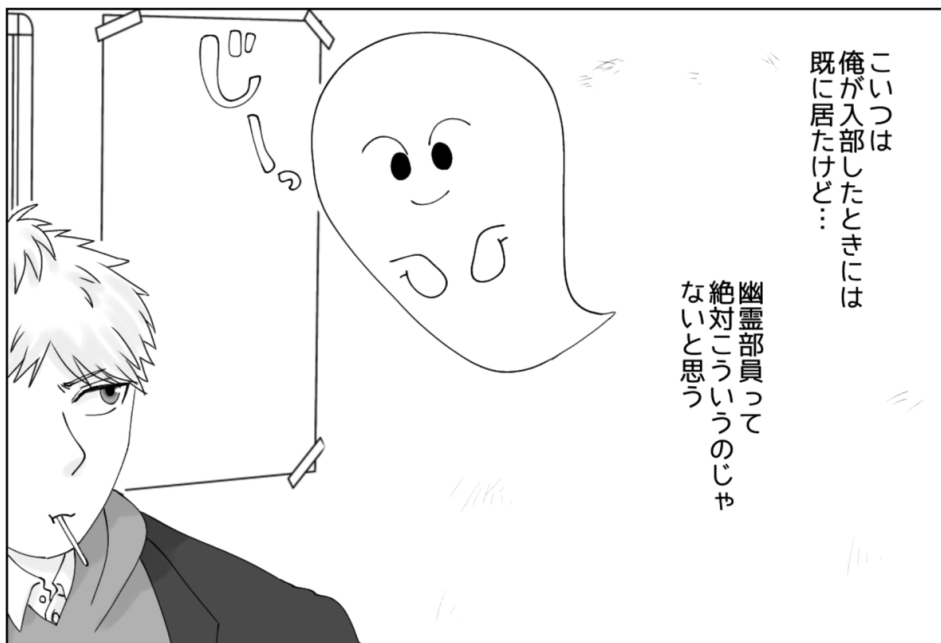


いやさすがに
幽霊すぎない?!



こいつは
俺が入部したときには
既に居たけど…

幽霊部員って
絶対こういうのじゃ
ないと思う



飴食べるの
やめなよ

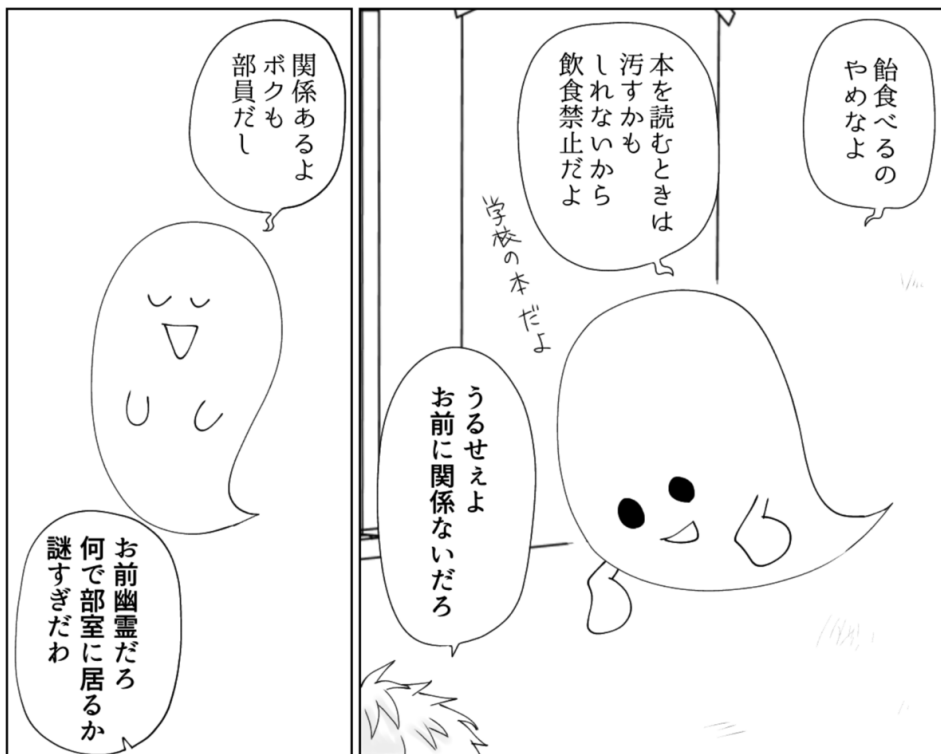
本を読むときは
汚すかも
しれないから
飲食禁止だよ

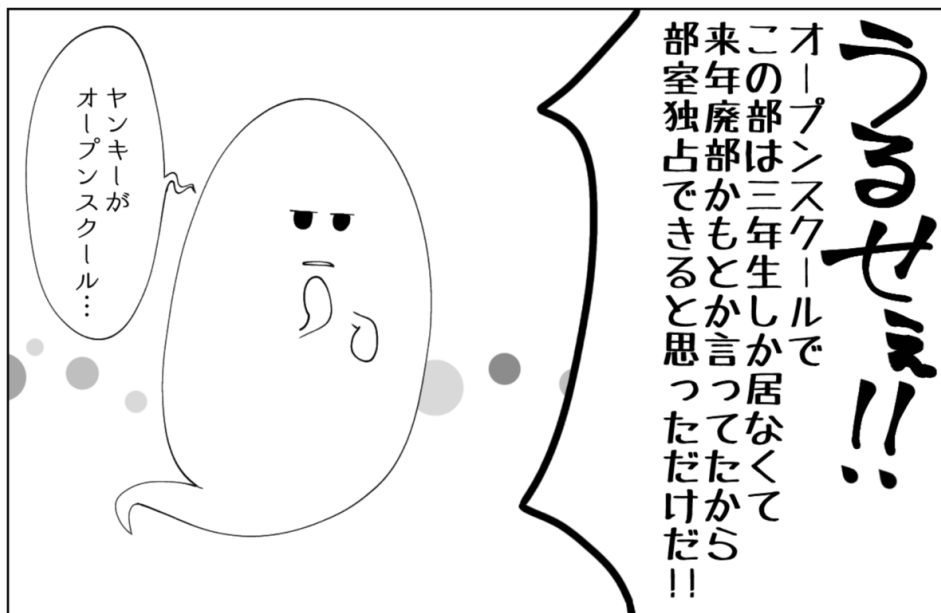
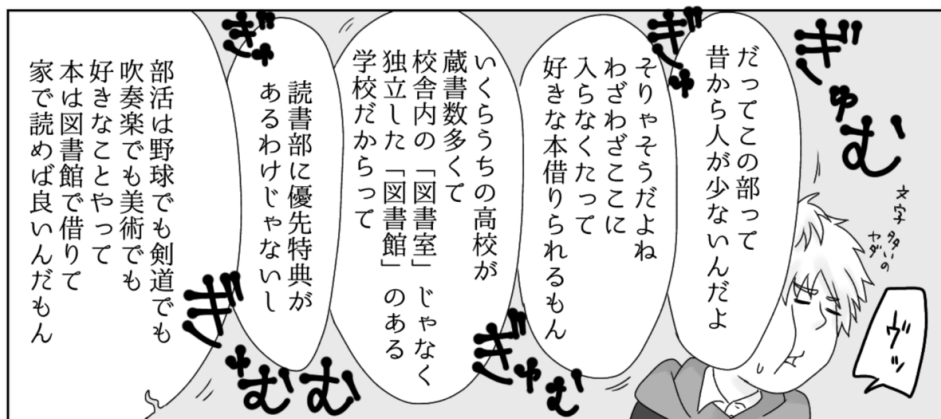
学校の本だよ

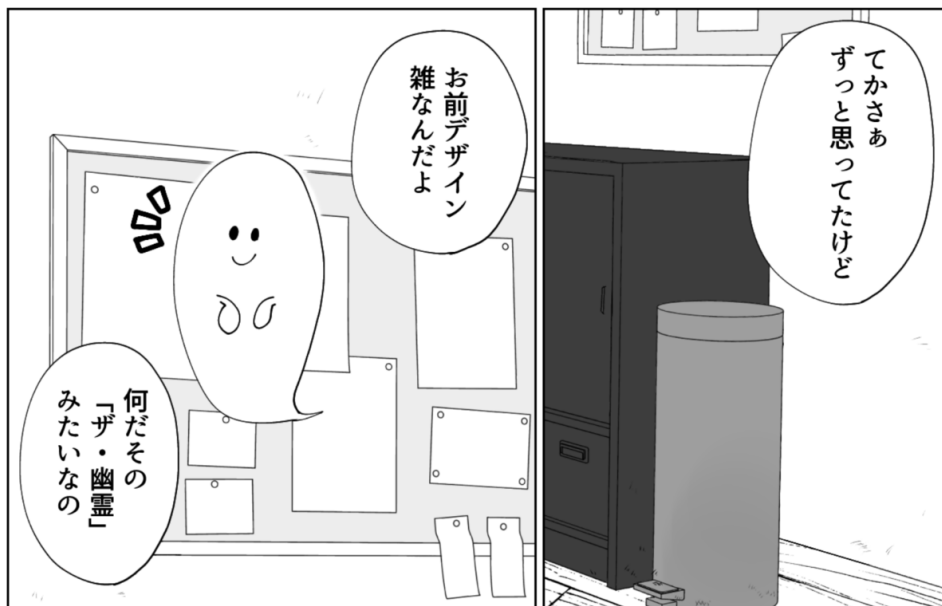
うるせえよ
お前に関係ないだろ

関係あるよ
ボクも
部員だし

お前幽霊だろ
何で部室に居るか
謎すぎだわ









幽霊の足が透けてるってイメージが広まったのは円山応挙の影響だよ有名絵師だもんね

だって足がないとボク動けないはずでしょ？地縛霊じゃないもん

そうなの?!
知らねえよ!!

応挙が生まれる前の浄瑠璃の本
かざんいんきさきあらそい いのうえはりまのじょう
「花山院后諱」(井上播磨縁 版)
の挿絵に足のない幽霊の絵があり
「幽霊に足がない」概念は昔から
存在していたようだが有名絵師の
作品で地域世代問わず広まること
になったもよう。
国会図書館にあるのは宇治嘉太夫
加筆版。

お前の見た目なんか
俺の想像力関係ねえだろ
男のくせに女々しいこと
言ってるじゃねえよ

男のくせにとか女々しいとか
今の時代そういうこと言うの
良くないと思うよ?

というか
ボクの姿が見えてないなら
何をもってボクを
男と判断しているの?

え?
だってお前
ボクって言ってるだろ

一人称がボクだと
男なの?

自分を「ボク」って言う
女子だって居るよ
ボクっ娘っていうんだよ

えっ……

じゃあお前もその…
ボクッコ?
とかいう女なのかよ?

男なんじゃねえか!!

まあボクは
れっきとした男
だけどね

はー…まじで
何なんだよ

そもそもボクツコが
何なんだよ

お前もいつから
幽霊か知らねえけど
なんでそんなこと
知ってんだよ

この顧問の先生が
昼休みの職員室で
カバ―で隠しながら
読んでる本にあった

本をたくさん
読みましょう

でも純文学以外は
本ではありませんからね



偏見の塊な顧問
読書部

えっ

あの人そんな本
読んでんの?!

他人にはあんなこと
言っておきながら…

あの先生なら
ボクの姿も
正しく見えるかもね

君もたくさん
本を読みなよ

純文学だけ
じゃなくて
いいからさ

児童書とか物語系
楽しいよ

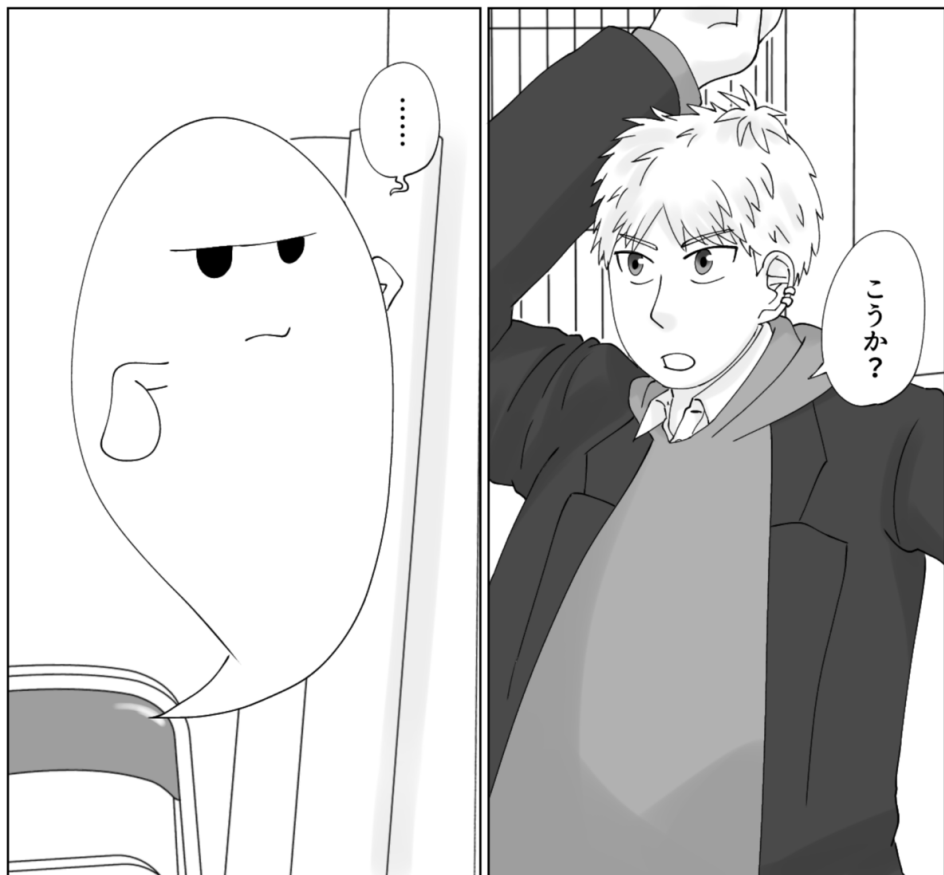
推理小説
なんかも
いいね

SFなら
ショートショート
っていう
短編もあるから
慣れてなくても
読みやすいよ

あっ
そうだ

ボクの好きな本とか
読んでたら
ボクと似たような想像力
ついたりしないかな

えー…お前の
読むような本…？
めんどくせえ…



お前が
やれつつつたんだろ

はーダメだね
それだと簡単に
目羅博士に
殺されちゃうよ

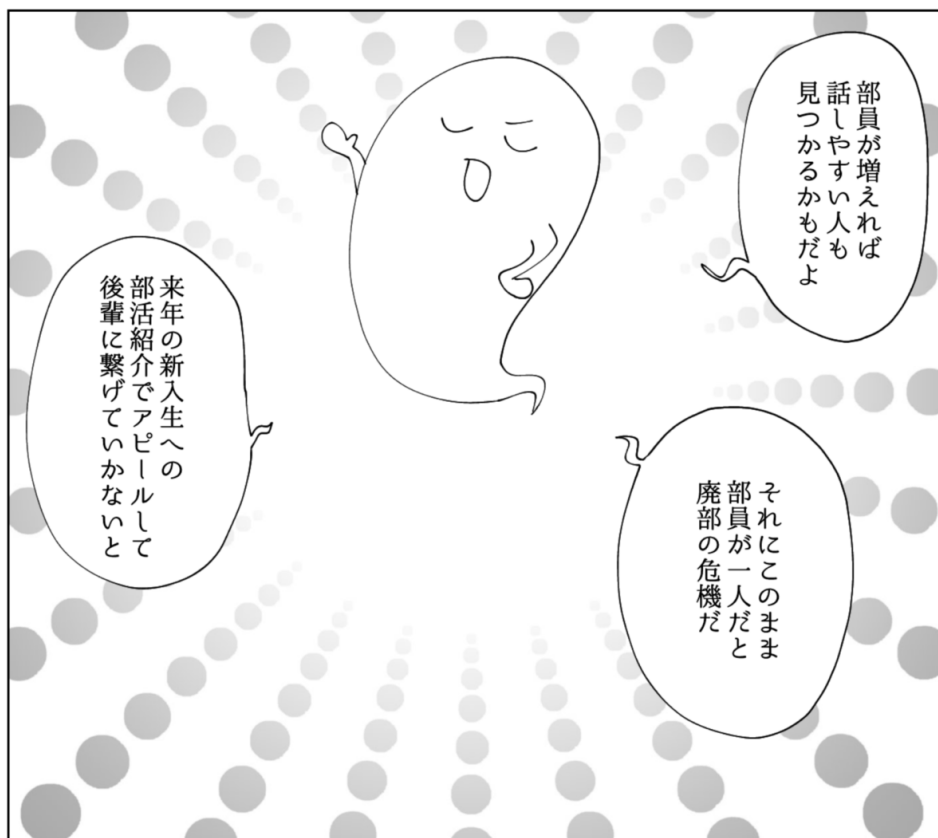
目羅博士
作：江戸川乱歩
ある日「私」が動物園の猿の檻の前
で会った人物は、ある条件下で相手
と同じ動きをしてしまう人間の性質
を逆手に取り殺人を繰り返していた。

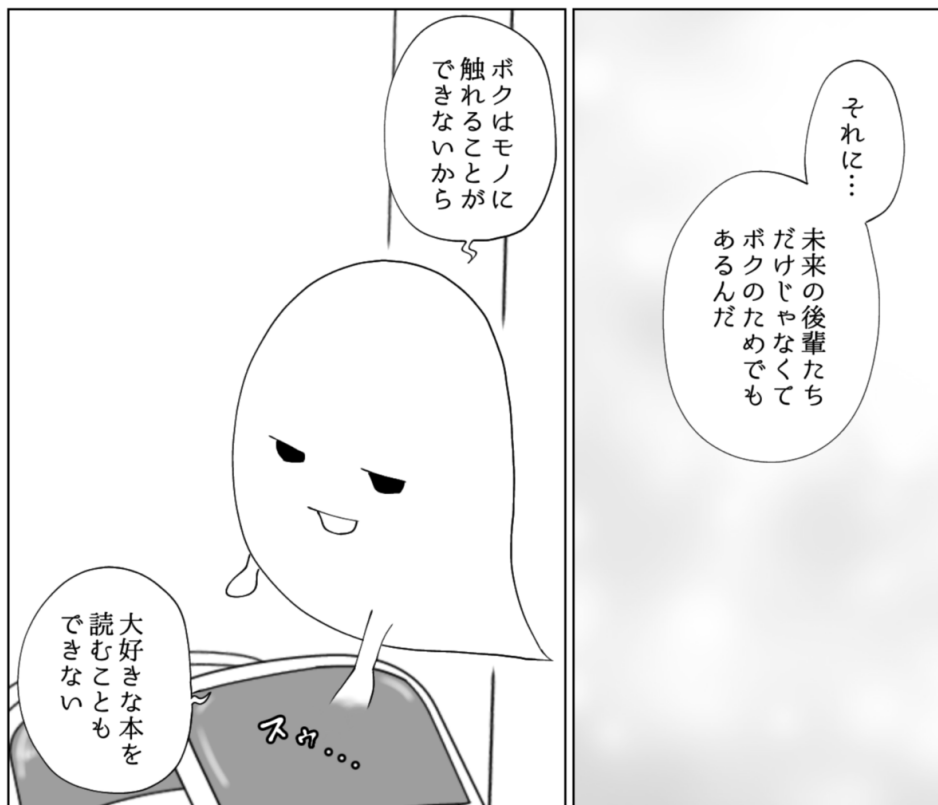
あつ
て
シラカバ
で
誰だ!!

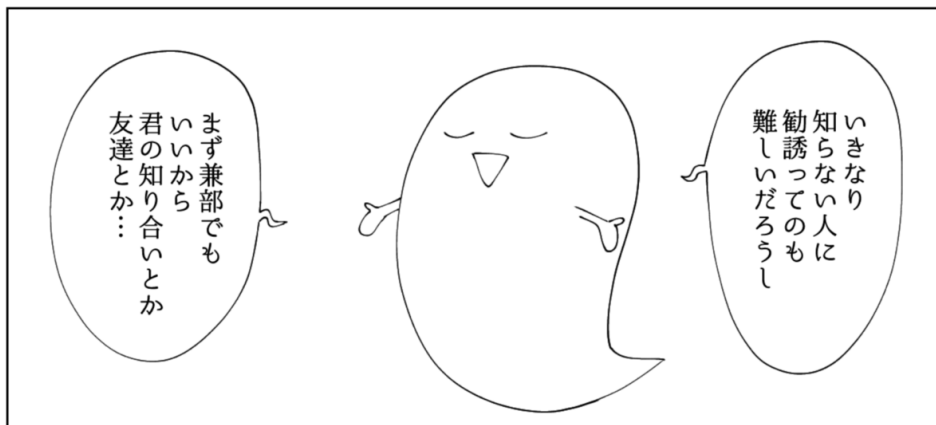
お前はさつきから
ひとのこと
バカにしすぎなんだよ!

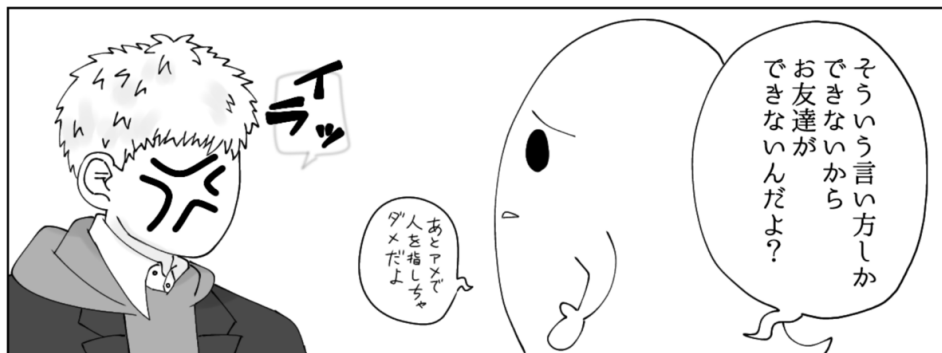
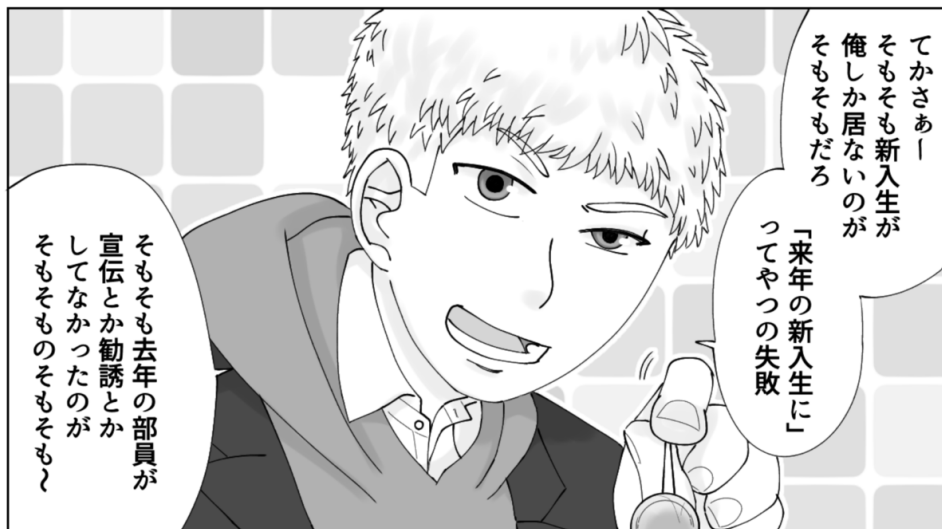
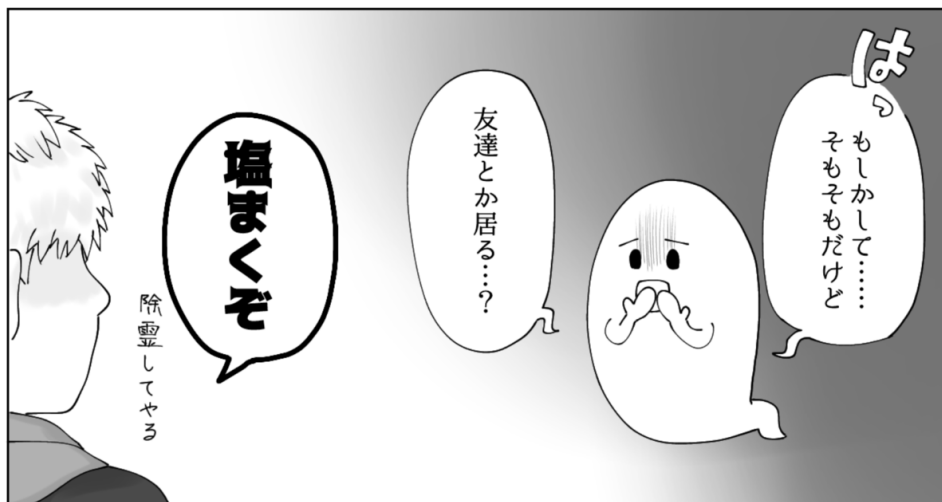
もし
君さつきから
口が悪すぎ

ボク一応
先輩だからね?











ボクは
この部に
もっと人を
すこあ

